



Фестиваль российской культуры в Японии-2012

ロシア原風景をたどる

ストラヴィンスキー生誕130周年 記念コンサート

銀座で二夜連続のロシア音楽祭



10/4 銀座・王子ホール
18:30開場/19:00開演
(木) 全席指定¥5,000

ピアノ／ドミトリー・オニシェンコ、木曾 真奈美
舞踊／藤間蘭黄

主催：ロシア文化フェスティバル日本組織委員会
後援：ロシア連邦文化省、ロシア連邦協力庁、駐日ロシア連邦大使館、太田国際音楽セミナー、ロシアン・アーツ

現代音楽の道筋を創った巨匠ストラヴィンスキー

シェーンベルクと並ぶ20世紀最大の作曲家、イーゴリ・フョードロヴィッチ・ストラヴィンスキー（1882-1971）は、印象主義、バーバリズム、新古典主義、ジャズ、セリー音楽、12音技法など現代音楽のあらゆる技法を次々と取り込み、“カメレオン”のごとく作風を変化させていきました。中でもディアギレフ率いるバレエ団バレエ・リュスのために作曲した『火の鳥』『ペトルーシュカ』『春の祭典』の三大バレエ曲はその野性的なリズムと大胆なオーケストレーションによって現代音楽の方向を決定づけるほど革新的なものでしたが、それとともに、ロシア・スラヴの民族性あふれる音楽モチーフが散りばめられていることも見逃せません。今回の記念コンサートは、数ある切り口の中からここに焦点を当て、若くして祖国を離れながらも、ストラヴィンスキーの作品の根底に流れるロシアの原初的要素、原風景をバレエ音楽から探ろうとするものです。

プログラム

- バレエ「火の鳥」(ピアノ・ソロ版)より 木曾 真奈美
- 組曲「兵士の物語」(ピアノ・ソロ版)より ドミトリー・オニシェンコ
- バレエ「ペトルーシュカ」からの3章(ピアノ・ソロ版) ドミトリー・オニシェンコ
- バレエ「春の祭典」第1部「大地礼賛」(ピアノ・デュオ版) 木曾真奈美、ドミトリー・オニシェンコ
- 創作日本舞踊「三大バレエ曲より」 藤間蘭黄(日本舞踊)

※演奏順は異なります。曲目は都合により変更される場合がございます。



ドミトリー・オニシェンコ／ピアノ

チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院卒業、同大学院修了(ナウモフ教授、ディエフ准教授に師事)、ウクライナ・リセンコ記念リボフ国立アカデミー(グラモテエフ准教授、ネミル准教授に師事)およびドイツ・ハノーヴァー音楽高等学校(ヴァルディ教授に師事)を卒業。2003年から2004年まで英国王立ノーザン音楽大学の学生(フィッシャー教授、メリニコフに師事)。2005年から2008年までリセンコ記念リボフ国立アカデミーの研究生(クリフ教授に師事)。2009年よりリボフ国立アカデミーにて講師を務めている。

- 1997年 ツベスタエフ国際コンクール1位
- 2000年 クライネフ国際ピアノコンクール1位
- 2001年 ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール1位
- 2002年 チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門5位ならびに最年少栄誉賞
- 2004年 若い音楽家のための国際ピアノコンクール1位
- 2005年 浜松国際ピアノアカデミーコンクール2位
- 2007年 リセンコ国際ピアノコンクール1位



木曾 真奈美(きそ・まなみ)／ピアノ

東京芸術大学卒業。同大学院修了。14歳で名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演し、テレビ出演。16歳でアメリカ演奏旅行。モスクワ音楽院で行われた国際サマースクールにおいて最優秀の成績で修了。第13回新人音楽コンクール(朝日新聞、飯塚文化連盟主催)にて第1位を獲得したのをはじめ、数々のコンクールに入賞。日本演奏連盟賞、中日賞など受賞歴も多数。ベルリン弦楽四重奏団はじめ、国内外のトップアーティストとも多数共演しており、高い評価を受けている。近年ではサントリーホールにてボリショイ劇場監督A.ヴェデルニコフ指揮ロシアフィルハーモニー交響楽団と共演。また、小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団、沼尻竜典指揮同フィルとも、ラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番」を共演し高い評価を得た。これまでに藤井博子、播本枝未子、クラス＝シルデの各氏に師事。



藤間 蘭黄(ふじまらんこう)／日本舞踊

日本舞踊家。江戸時代から続く「代地」藤間家の後継者。日本舞踊普及に力を注ぎ、初心者から師範まで幅広い対象者に指導を行っている。一門の舞踊会「紫紅会」を毎年主催するほか、リサイタル「蘭黄の会」を開催、(社)日本舞踊協会公演、国立劇場、国立文楽劇場主催公演、NHKテレビ「芸能花舞台」などへも多く出演している。NHK大河ドラマや時代劇の所作指導も担当。出演する俳優の個人指導も行う。海外からの留学生へのワークショップのほか、ヨーロッパ・ロシア・アジア・中近東・米国・中南米など海外公演の企画・出演も多い。第17回松尾芸能賞舞踊新人賞、舞踊批評家協会新人賞、第11回花柳壽應賞新人賞、文化庁芸術祭新人賞を受賞。(社)日本舞踊協会参与・東京支部城東ブロック副ブロック長、藤間流藤盛会東京支部世話役。東京新聞社主催全国舞踊コンクール審査員、ソウル国際舞踊コンクール審査員。

イーゴリ・ストラヴィンスキー
(1882-1971)

20世紀最大の作曲家のひとり。父はマリインスキー劇場でソリストを務めたバス歌手。法律を学ぶためにペテルブルグ大学法学部に入学するが、作曲の勉強を始める。リムスキー＝コルサコフの指導のもと、作曲法と管弦楽法を学ぶ。リムスキー＝コルサコフの娘の結婚を祝して作曲した『花火』がバレエ・リュスのディアギレフの目にとまり、三代バレエ音楽『火の鳥』『ペトルーシュカ』『春の祭典』が誕生。このセンセーショナルな成功で一躍ヨーロッパの楽壇の寵児となった。ストラヴィンスキーの作風は大きく分けて、新民族主義と呼ばれた初期、ヨーロッパ音楽の伝統と向き合った中期、ジャズを取り入れたりセリー音楽を開拓するなど新たな分野に挑戦した後期に分けられる。半世紀前の1959年に日本を訪れており、大阪と東京のN響コンサートで指揮をとった。

【チケットのお申し込み・お問い合わせ】
ロシア文化フェスティバル
日本組織委員会事務局
☎03-5919-1051
FAX:03-3355-8901
メールアドレス:
russian-culture@view.ocn.ne.jp

銀座・王子ホール
中央区銀座4-7-5

- JR「有楽町」駅下車…銀座口から徒歩7分
- 地下鉄「銀座」駅下車…A12出口から徒歩1分
- 地下鉄「銀座一丁目」駅下車…9番出口から徒歩5分
- 地下鉄「東銀座駅」下車
A2出口から徒歩2分

【注意事項】

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- お求めいただきましたチケットのキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。ご了承いただけない場合は、当日券のご利用をお勧めいたします。ただし、公演中止の場合を除き前売りで売り切れの場合、当日券はございません。

